

せつこっこクラブ 12月「サンタクロースと世界旅行！」

日 時：平成29年12月16日（土）午後1時30分～4時

講 師：モルヴァン 末松グニエさん、末松グニエ文さん

対 象：小学生

参加人数：19名（1年生1名、2年生8名、3年生3名、4年生4名、5年生2名、6年生1名）

参加費：300円（材料費）

職 員：長岡、大村

今回のせつこっこクラブでは、講師にフランス出身のモルヴァンさん、写真家の文さんをお招きし、ヨーロッパ各地のクリスマスについてお話を聞き、オープン粘土を使ったクリスマスオーナメント作りに挑戦しました。

はじめに、講義室で講師のお二人の自己紹介を行い、モルヴァンさんの出身地フランスでは、小麦粉に塩と水を混ぜ、乾燥させたあとにオーブンで焼き、伝統的にクリスマスオーナメントが作られてきたこと、スペインなどの国では、イエス・キリストの生誕の場面を再現した人形が作られ、飾られるというお話を聞きました。実際にモルヴァンさん、文さんが家で作ってきてくれた見本や、戦前から外国で使われてきた人形なども並べて見せてもらいました。



お話のあとは、早速オーナメント作りに入ります。まず、あらかじめ配っていただいたワークシートに、自分が作りたいオーナメントの絵を描いていきます。色鉛筆やペンを使って、サンタクロースや雪だるま、うさぎなどが描かれます。

描き終わった子から、オープン粘土でオーナメントを作っていきます。このオープン粘土ですが、お湯につけてやわらかくしていたにもかかわらず、大人の手でこねても、すぐには柔らかか



くなつてはくれない強敵でした。講師のお二人や、手の空いた職員、保護者の方々にも手伝っていただき、子どもたちの粘土を柔らかくしていきます。適度にやわらかくなったら、ワークシートに描いた下書きに沿って、形を作っていきます。



ツリーや雪だるまは平べったいものだけではなく、立体的に、人形のような雪だるまを作る子もいて、みんなの作品が徐々に出来上がってきます。中には、水彩絵の具を混ぜてこね、鮮やかな色の粘土を作る子や、ガラス製ビーズやビー玉を埋め込み、きらきら光る飾りつけをした子もいました。

できあがった子から、アルミホイルを敷いた天板やお皿の上に並べてもらい、オーブンで15分ほど焼きます。その間、子どもたちはモルヴァンさん、文さんからヨーロッパ各地のクリスマスについてお話を聞きました。日本とは大きくちがうクリスマスの様子に、子どもたちは興味深そうに聞いていました。



そして、ついに子どもたちが時間をかけて作り上げたオーナメントが焼きあがりました。オーブン粘土は、焼くと硬くなり、おもちゃのような質感に変わります。できあがった自分だけのオーナメントを、子どもたちは嬉しそうに手にとっていました。家でもう一回作ってみたい、楽しかった！という声も聞こえてきました。

今回は特別講師を招いてのワークショップでしたが、子どもたちも世界のクリスマスについて楽しく学び、熱心にオーナメントを作ってくれました。ぜひ家庭の方でも、伝統的なフランス流オーナメントに挑戦していただけたらと思います。(学芸員 大村)